

～ マンジャロ ～

(GIP/GLP-1受容体作動薬)

インスリンの分泌を促進し、食事摂食量低下と脂肪利用増加を導く働きがあります。

【使用方法】

- ・ 週に1回、決まった曜日に **腹部・大腿部** のいずれかの **皮下** に注射します。
- ・ 食前食後は関係ありません。
- ・ 筋肉や静脈には注射しないでください。
- ・ 凍結を避け、冷蔵庫(2～8℃)で保存してください。

【注射間隔と用量】

1～4週目	2.5mg
5週目～	5mg

※目安です。

【注射方法】

1. 灰色のキャップを取りはずす
2. 透明な底面を皮膚にあて、緑色の目印を回してロックを解除する
3. 皮膚に押し当てながら注入ボタンを押し、そのまま待つ
4. 1回目のカチッという音で注射が開始し、2回目のカチッという音がしたら注射完了です。



【副作用】

- 悪心・嘔吐、腹痛、下痢、便秘などの消化器症状
- 低血糖症状（脱力感、倦怠感、冷、動悸、ふるえ、めまい、ふらつき、頭痛、生あくび）
→少量で良いので1日3回（朝昼夕）は何か口にしてください。またラムネなどブドウ糖を携帯しておくことでより安心です。ただ、この副作用が発生する頻度は非常に低いです。
- 急性膵炎（0.1%未満）
胆嚢炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸（いずれも頻度不明）
※嘔吐を伴う激しい腹痛、強い腹痛・背部痛が続く場合は使用を中止し
近隣の医療機関を受診してください。

【マンジャロが使用できない方】

- ・18歳未満の方、75歳以上の方
- ・糖尿病、膵炎、胆石症、胆嚢炎、重度の腎機能障害、肝機能障害のある方
- ・摂食障害の方、BMI 18.5以下の方、体脂肪が男性15%未満、女性25%未満の方
- ・内分泌疾患やステロイド等薬剤使用による肥満の方
- ・甲状腺疾患のある方、またその家族歴のある方
- ・妊娠中、授乳中の方
- ・マンジャロ皮下注の成分に対して過敏症の既往歴のある方
- ・糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者さま
- ・重症感染症、手術等の緊急の場合

【廃棄方法】

- ・針が付属していますので一般の廃棄物として出せない地域がございますのでご注意ください。
- ・当院に郵送していただくことも可能です。
※送料は患者様ご自身でご負担をお願いしております(発払いをお願い致します。)

〔郵送先住所〕

〒500-8227

岐阜県岐阜市北一色2-10-23

つむぎクリニック 宛